

## お祝いの言葉

東北大学 学位プログラム推進機構長として、2017年度9月期 東北大学 リーディングプログラム部門の修了式を挙げるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本日、東北大学 博士課程教育リーディングプログラム、「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」並びに「マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム」を修了された皆さん、プログラムの修了、誠におめでとうございます。

また、本プログラムをここまで導き、運営をしてこられたコーディネーターの湯上浩雄先生、長坂徹也先生をはじめとする諸先生方、安全・安心プログラムでは第2期生、物質プログラムでは初めての修了生を迎えて、さぞ感慨もひとしおだろうと推察しております。本日の修了式の挙行をお喜び申し上げます。

さて、今回修了された皆さんは、2013（平成25）年、および2014（平成26）年に本リーディングプログラムに入学された第1期生、そして第2期生であります。プログラムの理念や目標、そしてカリキュラムが既に提示されていたとはいえ、ロールモデルとなる先輩が少ない中でのプログラムへの参加ということで、大きな不安が胸中をよぎったものと思います。

しかしながら皆さんは、手探り状態であったとは思いますが、同期の仲間とともに、そして後輩とともに、大いに勉学に励み、プログラムが求めるカリキュラムをこなしてきました。そして、5月に行われたリーディングプログラム部門の学位審査に無事合格し、修了認定を受けることになりま

した。研究科・専攻における通常の大学院カリキュラムの他に、プログラムのカリキュラムもこなすという皆さんのこれまでのご努力に、深く敬意を表します。皆さんは、昨日行われた学位記授与式において、その冒頭に「グローバル安全学トップリーダー育成プログラムを修了し」または「マルチディメンジョン物質工学リーダー養成プログラムを修了し」と記された学位記を、万感の思いもって受領されたことと思います。

ここで私からお願いがあります。ぜひプログラム修了生間のネットワークを構築して下さい。皆さんは、プログラムでの数年間、言わば「同じ釜の飯を食った仲間」なのです。今後は、皆さんはそれぞれ異なる場所で、異なる立場で活動していくこととなります。そして幾多の困難な課題と直面するはずで。そのようなとき、ネットワークが大きな力になります。人のつながりこそ、財産なのです。どうか、ネットワークの構築を進めていただくことをお願いいたします。

最後になりましたが、改めて修了生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。皆さんはプログラムを離れ、一人ひとりが新しい場所で新たな活動を始めると思いますが、プログラムで培った力を思う存分発揮してくださることを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

2017年9月26日

東北大学 学位プログラム推進機構長

理事 花輪 公雄